

平成26年9月9日(火)開催

『ひざづめ技術課題相談会』 4u

社長の皆様 技術相談・共同研究・分析評価のチャンスです

効率向上！不良品撲滅！技術力アップ！…等々、自社の改善に日夜取り組んでおられることと思います。その課題を大学の知を使って解決してみませんか？

このたび首都圏北部4大学連合(4u)と連携大学・日本工大の5人の先生が、それぞれの専門分野の最新動向を解説しながら、皆様のご相談に応じます。

是非お気軽にご参加ください。



※JR 埼京線北与野駅スグ
新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室

- ◆開催日 平成 26 年9月9日(火)
- ◆時間 午後1時30分～午後5時00分
その後1時間程度懇親会(無料)
- ◆会場 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室
住所：さいたま市中央区上落合 2-3-2
- ◆費用 今回の相談については無料です

- 13:30 開会 主催者挨拶
- 13:45 5人の先生からのプレゼン(自己紹介プラス主要研究テーマ発表)
参加する先生の概要は裏面をご参照下さい。
- 15:00 大学の先生を囲んで、ひざづめでご相談下さい。
5人の先生への技術相談は、機械、電気、環境、食品・アグリ、バイオです。
- 17:00 交流会(1時間程度)

裏面「技術課題相談参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記宛 FAX 送付願います。

★コラボ産学官埼玉支部 FAX: 048-599-1044

※なお、お申込数が相談対応可能先数(各先生ごと最大10名)を超える場合には、別の機会をお願いすることもございますので、予めご了承くださいませ。

**主催：コラボ産学官埼玉支部、
首都圏北部4大学連合(4u～埼玉大学、茨城大学、宇都宮大学、群馬大学)**

**後援：埼玉県、栃木県、群馬県、さいたま市、(公財)埼玉県産業振興公社、(公財)さいたま市
(予定) 産業創造財団、(公財)茨城県中小企業振興公社、(公財)栃木県産業振興センター、(公財)群馬県産業支援機構、埼玉縣信用金庫、常陽銀行、群馬銀行、東和銀行、北関東産官学研究会**



※ 平成 26 年 8 月 29 日 (金) までに FAX でお申込ください。

参加する5人の先生のプロフィール

機械

群馬大学大学院 理工学府知能機械創製部門 准教授 白石 洋一先生

【研究分野】 組み込みシステム開発手法、組合せ最適化手法、他
【HP】

http://www.ccr.gunma-u.ac.jp/4u/Seeds/Pdf/2009/Gunma/Vol02_P045_046_G_Computer_Shiraishi.pdf
http://www.tech.gunma-u.ac.jp/HP1/Courses/Research/2007/07/Research07_Shiraishi.html

【メッセージ】 モデルベースによる問題解決手法の応用について研究を進めています。モデルベース設計手法により、シミュレータを効率的に開発することが可能になります。シミュレータを利用して、企業、他大学と共同で、パワエレ、ロボットを対象とした組み込みソフト設計、非破壊検査、非侵襲的な人体の疾患推定、および健診データ診断支援の研究開発を進めています。

電気

埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 塩田 達俊先生

【研究分野】 先端フォトンクス、光波センシングシステム

【HP】 <http://www.saitama-u.ac.jp/coic/catalog/2013/top.html>

【メッセージ】 製品や加工品など比較的大きな物体形状を非接触・高分解・高速計測できる技術の実現を目指して、光干渉技術による3次元イメージングの研究を基礎から進めています。埼玉県内の企業の皆様のお役に立ちたいと思っております。

環境

茨城大学工学部 准教授 熊沢 紀之先生

【研究分野】 環境関連化学、生体関連化学

【HP】 <http://info.ibaraki.ac.jp/Profiles/3/0000290/profile.html>

【メッセージ】 放射性物質の汚染拡大防止に有効な処理方法や新規水溶液に関する研究・実証試験を行っています。水の浄化にも応用できます。環境保全・浄化・除染等の技術にご興味のある企業様やユーザーとなる企業様のご相談に対応可能です。

食料・アグリ

宇都宮大学農学部附属農場 准教授 柏崎 勝先生

【研究分野】 農作業環境工学

【HP】 http://www.ccr.gunma-u.ac.jp/4u/Seeds/Pdf/2009/Utsunomiya/Vol02_P129_130_U_Mono_Kashiwazaki_v02.pdf

【メッセージ】 本学工学部との農工連携を重視し、例えば、農作業環境でのロボット導入、IT化、植物工場の具体的検討・設計、更には、イチゴの高品質な流通技術など実用性を重視した研究に取り組んでいます。農業のグローバル競争も視野に入れた高品質で、しかも経済性のある農工連携にご興味のある企業との連携を期待しています。

バイオ

日本工業大学創造システム工学科 准教授 佐野 健一先生

【研究分野】 ナノバイオ工学、タンパク質工学、遺伝子工学、生命工学/無機材料相互作用

【HP】 http://www.nit.ac.jp/gakka/subject/kyoin7/se_sano.html

【メッセージ】 弊研究室では、ナノバイオをキーワードに、食品色素の分析法の開発や薬剤送達単体の開発などのイメージしやすいバイオ生体研究や、タンパク質を使ったフラッシュメモリ開発などのデバイス開発、また落葉の早期腐葉土化といったことにも積極的に挑戦しています。さらに学科の特徴を活かした、ロボット工学との融合研究・開発も進めています。

「ひざづめ技術課題相談会」(申込書)

相談したい分野	機械	電気	環境	食料アグリ	バイオ
社名	住所				
ご相談者名(役職)	TEL				
業種	FAX				
主な製品	E-mail		@		
ご相談したい課題の概要や解決目標など記入ください					

★ 取得した個人情報は、当方からのお知らせに使用することがあります。その他、お申込者の承諾無しに上記内容を第三者に情報開示、提供することは有りません。